

水道事業の今年度予算 収益的収入及び支出

収入 (単位=千円)			
区分	科目	金額	備考
営業収益	給水収益	580,864	水道料金収入
	受託給水工事収益	123,424	受託工事、修繕料収入
	その他営業収益	20,099	加入金、各種手数料収入
	受取利息及び配当金	1,364	預金利息等
営業外収益	雑収益	668	不用品売却等収入
	繰入金	4,000	一般会計補助金
	繰入金	4,000	
水道事業収益	計	730,419	

支出 (単位=千円)			
区分	科目	金額	備考
営業費用	原水及び浄水費	137,782	取水・配水・配水池の費用
	配水及び給水費	71,656	送配水管、量水器の維持費
	受託給水工事費	120,980	受託工事費用
	業務費	26,575	料金算出徴収の費用
	総務費	40,627	庶務会計の費用
	減価償却費	112,695	
	資産減耗費	3,832	固定資産の償却
	その他の営業費用	1,780	
	支払利息	200,221	
	繰延勘定償却費	4,000	退職手当金の償却費
営業外費用	過年度損益修正損	30	過剰納付金
特別損失	予備費	10,000	
水道事業費用	計	730,158	

(差引利益見込み額 26万1,000円)

資本的収入及び支出

収入 (単位=千円)			
科目	金額	備考	
企業債	0		
補助金	0		
計	0		

支出 (単位=千円)			
区分	科目	金額	備考
建設改良費	拡張工事費	87,822	第5次拡張工事の費用
	浄水施設費	12,210	浄水場、配水所の改良費用
	給水施設費	66,543	配水管敷設費、新設給水管費用
	備品購入費	2,749	
	企業債償還金	48,329	企業債元金返済
計		217,653	

(差引不足見込み額 2億1,765万3,000円)

※ この不足見込み額は、内部留保資金及び建設改良積立金で補てんします。

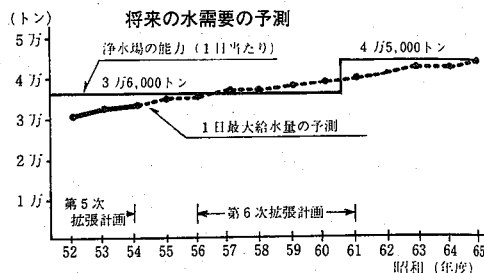
■経理の概況では

五十五年度当初予算で、水道事業収益を七億三千四百一十九万九千九百三十三円と見込んでいます。したがって差引きは、まず当初予算時では、わずかに二十六万円の利益しか見込めません。水道事業財政は極めて厳しい状態を迎えていると言わざるを得ません。

水道週間特集

水づくりは欠かせない

— 水道局の昨年のしごと —



今年度は一般的建設改良工事を進めるほかに、昭和六十一年を目標年度とした「第六次拡張事業計画」を推進するため、準備業務を行います。

■配水管関係では

断水や水圧低下などを根本的に解消するため、前年度に

今年は一
15路線に配水管を敷設
六次拡張、へ向けて準備も

工事予定路線

施工場所	口径φmm	延長m
新町〜下興野線	300	681
	150	450
飯柳〜金屋線	150	700
七日町地内	50	280
三枚淵地内	50	90
金沢町地内	50	170
結地内	50	90
小戸下組地内	100	190
栗宮地内	100	700
田家2丁目地内	100	300
田家3丁目地内	100	520
中新田地内	100	200
結〜福島地内	150	470
新町2丁目地内	150	90
日宝町地内	150	320
合計 15 線		5,251

引き続き行い、今年には右の表のように十五路線にわたって配水管敷設工事を進めます。

■浄水場関係では

河川水をろ過して飲料水をつくるため、残水に汚泥が排出します。その汚泥処理施設や排水池の改造工事を行うほか、送水用電動機の取替え工事、

送水用ポンプのオーバーホール(分解掃除)を施工します。

第六次拡張事業に備えて、五十六年度からの「第六次拡張事業計画」に先立って、建設省に対する水利利用の許可申請や厚生省への事業認可申請など、関係国書の作成業務にとりかかっています。

なお、これら浄水場施設と配水管工事費、備品購入費、業務委託費をあわせて九千七百三十万円ほどを見込んでいます。

暮らしの源

— 今年のしごと —

業務状況のお知らせです

年々水需要が増大し水圧不足が生じていますが、その水圧不足の解消のため、新町〜下興野線をはじめ六路線(総延長六千九百九十メートル)で配水管を太いものに取替えました。

また配水管整備によって水圧が強くなるため、割れやす

■配水管関係では

年々水需要が増大し水圧不足が生じていますが、その水圧不足の解消のため、新町〜下興野線をはじめ六路線(総延長六千九百九十メートル)で配水管を太いものに取替えました。

■水の将来に備えて

「給水量需要予測調査」をもとに、年々増加の傾向にある水需要に備え、第六次拡張事業計画や、現在休止している中新田浄水場の取扱いなどの調査設計費用として五百五十万円をかけました。

■経理の状況では

五十四年度の水道事業会計の決算見込みは、次のようになります。

▼当年度純利益金：三千九百四十一万六千円

▼前年度繰越利益剰余金：三千三百四十二万四千円

計：七千二百八十四万四千円

なお、この利益額のうちから次のような積立金を予定しています。

より安全な水のために
より安全な飲料水をお届けするため「原子吸光度計」を購入し整備しました。これは阿賀野川から取水している原水の金属性物質による汚染の検査精度を高めるためのもので、

五十四年度の水道事業会計の決算見込みは、次のようになります。

▼当年度純利益金：三千九百四十一万六千円

▼前年度繰越利益剰余金：三千三百四十二万四千円

計：七千二百八十四万四千円

なお、この利益額のうちから次のような積立金を予定しています。

昨年は——
第五次拡張工事、
が完了
浄水場の整備も



昨年の造園工事で緑の浄水場に

昭和54年度の経理の状況(決算見込み) 収益的収入及び支出

収入 (単位=千円)			
区分	科目	決算見込み額	
営業収益	給水収益	560,747	
	受託給水工事収益	154,085	
	その他の営業収益	19,376	
	受取利息及び配当金	5,028	
営業外収益	雑収益	1,872	
	繰入金	4,000	
	繰入金	4,000	
計		745,108	

支出 (単位=千円)			
区分	科目	決算見込み額	
営業費用	原水及び浄水費	126,274	
	配水及び給水費	80,588	
	受託給水工事費	137,724	
	業務費	23,980	
	総務費	43,775	
	減価償却費	100,924	
	資産減耗費	5,605	
	その他営業費用	1,942	
	支払利息	180,757	
	繰延勘定償却費	4,000	
営業外費用	過年度損益修正損	123	
特別損失			
計		705,692	

資本的収入及び支出

収入 (単位=千円)			
科目	決算見込み額		
企業債	270,000		
固定資産売却代金	555		
計	270,555		

支出 (単位=千円)			
区分	科目	決算見込み額	
建設改良費	拡張工事費	278,816	
	浄水施設費	3,890	
	給水施設費	57,802	
	備品購入費	5,953	
企業債償還金		42,807	
	計	389,268	

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

夏の醍醐味・甘さ自慢

群馬・紅小玉
千葉 天竜すいか
フレッシュでおいしい果物の店
やまいし
新津市本町3 TEL 3-0397



カット&パーマ
御婚礼着付一般
アザ、シミ、ソバカスをかくし、水にとても強い
カバーマーク化粧品は当店で!

渡辺美容院 20626
本町3丁目 能代川寄りウラ通り

世界超一流の真珠からとれる
化粧品と不老長寿の真珠末
社員募集/1日6時間 月8万円 保険あり

ミキモト化粧品新津営業所
本町三(商工会議所横) 電話 4-2157



東芝ストア

より良いサービスと
楽しい暮らしに奉仕する店

(株) **八重電商事**
本町二 TEL 4-3131(代)